



ビットコイン、分裂後史上最高値更新

2017年8月15日

最大の仮想通貨であるビットコイン※は8月の分裂騒動を乗り切って上昇を続け、8月13日現在は4000ドル付近で取引している。一時史上最高値の4099ドルを付けた。年初来では4倍余りの水準だった。

分裂騒動の懸念で、6月から7月にかけて、ビットコインは3000ドルから1835ドルまで急落の場面もあったが、8月2日にビットコインから分かれる形で新通貨「ビットコインキャッシュ（BCC）」が誕生し、その後入出金などの取引も正常化したことで、騒動はひとまず収束した。個人投資家に加え、一部の投資ファンドも買いに動いているようだ。

今回の分裂騒動の背景として、ビットコインは最近の仮想通貨ブームで取引が急増し、取引確定に時間がかかっていた。処理容量引き上げの手法を巡り、複数の業者同士が対立。ヴィアBTCが新通貨BCCをつくる構想を表明していた。分裂によりビットコインと同量のBCCが誕生。国内の各取引所は原則としてビットコインの保有量に応じ、利用者にBCCを無償で付与する。2つのコインを合わせた価値は理論上、分裂前のビットコイン価格と同水準だが、今後は需要などで価格が変化する。ただ、仮想通貨を手掛ける取引所や決済サービス会社の一部はビットコインキャッシュを支持しない方針を決めており、新仮想通貨の取り扱いには限定されそうだ。

日本では4月に改正資金決済法が施行され、仮想通貨が決済手段として認定された。安い手数料で決済や国際送金ができる点も評価され、取引する企業や個人が急増。ビットコインは発行量に上限があるため、購入者が多いほど価格が上がりやすい。

今回BCCの誕生で、ビットコイン分裂騒動はいったん収束に向かう。ただビットコインは11月に処理容量の引き上げを予定しており、その手法を巡り、騒動が再燃する可能性が残る。

※ビットコイン

世界中で約800種類あるインターネット上のお金「仮想通貨」の代表格。取引履歴を複数のコンピューターが記録するブロックチェーン（分散台帳）という仕組みで管理する。